

# 令和4年度 第2回杉並区外部評価委員会 次第

令和4年10月21日

東棟4階庁議室

## 1 外部評価の進め方

## 2 現地視察

- (1) 杉並子ども家庭支援センター（施策21）
- (2) 阿佐谷地域区民センター（施策32）

## 3 所管課ヒアリング

- (1) 施策32 地域住民活動の支援と地域人材の育成
- (2) 施策27 学校教育環境の整備・充実

## 4 その他

○第3回外部評価委員会（所管課ヒアリング・視察）

10月27日（木） 午後2時～5時25分（予定） 区役所分庁舎4階会議室

※午後2時に東棟4階企画課にお集まりください。

○第4回外部評価委員会（所管課ヒアリング）

11月4日（金） 午後1時～2時55分（予定） 区役所中棟4階第1委員会室

### <資料>

資料1 令和4年度外部評価の実施について(対象施策等)

資料2 令和4年度 第2回・第3回・第4回 外部評価委員会スケジュール

資料3 ヒアリング対象施策評価表

## 令和4年度外部評価の実施について(対象施策等)

## 1 外部評価対象施策等及び外部評価の進め方

## (1) 施策 (5施策)

施策評価表及び施策を構成する事務事業評価表のほか、外部評価委員会による所管課へのヒアリング・現地視察を踏まえた評価を行う。

施策	事業数	施策担当課 (関係課)	担当委員
施策 1 災害に強い防災まちづくり	13	市街地整備課 (土木計画課、みどり公園課、杉並土木事務所)	奥
施策17 障害者の地域生活支援の充実	16	障害者施策課 (障害者生活支援課、保健予防課、保健サービス課)	高山
施策21 子育てセーフティネットの充実	15	子ども家庭部管理課 (障害者施策課、杉並福祉事務所)	山本
施策27 学校教育環境の整備・充実	13	学校整備課 (営繕課、庶務課、教育人事企画課、済美教育センター)	岩下
施策32 地域住民活動の支援と地域人材の育成	11	地域課 (区民課、児童青少年課、生涯学習推進課)	田淵

## (2) 事務事業 (4事業)

事務事業評価表のほか、外部評価委員会による所管課へのヒアリングを踏まえた評価を行う。

整理番号	事務事業	担当課	担当委員
48	選挙に関する常時啓発活動	選挙管理委員会事務局	田淵
51	監査委員・事務局の運営	監査委員事務局	岩下
112	体育施設の維持管理	スポーツ振興課	奥
259	学童クラブ事業	児童青少年課	高山

## (3) 財団等経営評価 (1団体)

財団等経営評価表のほか、外部評価委員会による財団等へのヒアリングを踏まえた評価を行う。

団体	担当課	担当委員
公益社団法人 杉並区シルバー人材センター	高齢者施策課	山本

## 2 スケジュール(予定)

令和4年 10月21日(金)	外部評価委員会 第2回 <u>ヒアリング：2施策 / 現地視察：2施策</u>
10月27日(木)	外部評価委員会 第3回 <u>ヒアリング：2施策、1団体 / 現地施策：1施策</u>
11月4日(金)	外部評価委員会 第4回 <u>ヒアリング：1施策、4事務事業</u>
12月上旬から中旬	外部評価委員会 第5回(入札監視)
12月21日(水)(予定)	外部評価委員による外部評価表提出
12月23日(金)頃～	所管課対処方針作成(令和5年1月13日頃〆切(予定))
令和5年 1月下旬	外部評価委員会 第6回 (外部評価のまとめ)

## 3 所管課へのヒアリング等

### (1) 目的

- 外部評価委員会が、区の自己評価について、施策や事業の必要性、妥当性、有効性などを専門的視点から検証し、評価の客観性を高めるためにヒアリング・視察を実施する。
- ヒアリング・視察を通じ、外部評価委員が施策や事業の実際の状況を的確に把握し、適切な評価につなげる。また、各所管課においては、今後の行政評価や事業を展開するうえでの参考とする。

### (2) 実施概要

ヒアリングは公開とし、担当委員を中心に、外部評価委員会が行う。

## 令和4年度 第2回・第3回・第4回 外部評価委員会スケジュール

第2回：10月21日（金）午後1時30分～5時00分（ヒアリング2施策 / 現地視察2か所）

第3回：10月27日（木）午後2時00分～5時25分（ヒアリング2施策、1団体 / 現地視察1か所）

第4回：11月4日（金）午後1時00分～2時55分（ヒアリング1施策、4事務事業）

### <ヒアリング実施方法>

○ 施策担当課長及び関係課長による説明及び質疑

- ・ 1 施策：45分程度（説明10分、質疑30分、まとめ5分 予定）
- ・ 1 団体：45分程度（説明10分、質疑30分、まとめ5分 予定）
- ・ 1 事務事業：10分程度（説明なし、質疑5分、まとめ5分 予定）

※事務事業については、ヒアリング時間が短いため、別途、5分間の所管部課の入替え時間を設けている。

○原則として会場で実施するが、11月4日（現地視察の無い日）は、オンライン併用での開催とする。

○ヒアリングは公開とし、各施策等の担当委員を中心に、外部評価委員会が行う。

### <現地視察実施方法>

○ 施策または事業を担当する職員等が同行し、委員への説明等を行う。

○ 視察は委員及び区職員のみで実施し、視察後、ヒアリング開始時より区民等の傍聴を可能とする。

## 第2回：10月21日（金）

【会場】東棟4階 庁議室

※ 午後1時30分に杉並区役所東棟4階 企画課へお集まりください。

### ■対象施策等・実施内容

施策・事務事業名	実施内容	担当課	担当委員
施策21「子育てセーフティネットの充実」	現地視察 (ヒアリングは第3回で実施)	子ども家庭部管理課 (障害者施策課、杉並福祉事務所)	山本
施策27「学校教育環境の整備・充実」	ヒアリング	学校整備課 (営繕課、庶務課、教育人事企画課、済美教育センター)	岩下
施策32「地域住民活動の支援と地域人材の育成」	ヒアリング・現地視察	地域課 (区民課、児童青少年課、生涯学習推進課)	田淵

### ■ヒアリング等スケジュール

時間	内容	所要時間	備考
13:30	企画課に集合	5分	
13:35～13:45	(移動)	10分	
13:45～14:15	<b>現地視察：施策21</b>	30分	視察場所：杉並子ども家庭支援センター ※ヒアリングは第3回（10月27日）に実施
14:15～14:35	(移動)	20分	
14:35～15:05	<b>現地視察：施策32</b>	30分	視察場所：阿佐谷地域区民センター
15:05～15:25	(移動)	20分	
15:25～16:10	<b>ヒアリング：施策32</b>	45分	
16:10～16:55	<b>ヒアリング：施策27</b>	45分	
16:55～17:00	まとめ・事務連絡	5分	ヒアリングのまとめ（会長）、事務連絡（事務局）

# 第3回：10月27日（木）

【会場】分庁舎4階 A・B会議室

※ 午後2時に杉並区役所東棟4階 企画課へお集まりください。

## ■対象施策等・実施内容

施策・事務事業名	実施内容	担当課	担当委員
施策1「災害に強い防災まちづくり」	ヒアリング・現地視察	市街地整備課 (土木計画課、みどり公園課、杉並土木事務所)	奥
施策21「子育てセーフティネットの充実」	ヒアリング	子ども家庭部管理課 (障害者施策課、杉並福祉事務所)	山本
公益社団法人 杉並区シルバー人材センター	ヒアリング	高齢者施策課	山本

## ■ヒアリング等スケジュール

時間	内容	所要時間	備考
14:00	企画課に集合	5分	
14:05～14:20	(移動)	15分	
14:20～14:50	<b>現地視察：施策1</b>	30分	視察場所：馬橋通り、馬橋ほんむら公園
14:50～15:05	(移動)	15分	
15:05～15:50	<b>ヒアリング：施策1</b>	45分	
15:50～16:35	<b>ヒアリング：財団等</b>	45分	
16:35～17:20	<b>ヒアリング：施策21</b>	45分	現地視察は第2回（10月21日）に実施
17:20～17:25	まとめ・事務連絡	5分	ヒアリングのまとめ（会長）、事務連絡（事務局）

# 第4回：11月4日（金）

【会場】中棟4階 第1委員会室

## ■対象施策等・実施内容

施策・事務事業名	実施内容	担当課	担当委員
施策17「障害者の地域生活支援の充実」	ヒアリング	障害者施策課 (障害者生活支援課、保健予防課、保健サービス課)	高山
事務事業48「選挙に関する常時啓発事務」	ヒアリング	選挙管理委員会事務局	田淵
事務事業51「監査委員・事務局の運営」	ヒアリング	監査委員事務局	岩下
事務事業112「体育施設の維持管理」	ヒアリング	スポーツ振興課	奥
事務事業259「学童クラブ事業」	ヒアリング	児童青少年課	高山

## ■ヒアリング等スケジュール

時間	内容	所要時間	備考
13:00	開会		
13:00～13:05	スケジュール確認等	5分	
13:05～13:50	<b>ヒアリング：施策17</b>	45分	
13:50～13:55	(所管部課入替え)	5分	事務事業はヒアリング時間が短いため、所管部課の入れ替え時間を設ける。
13:55～14:05	<b>ヒアリング：事務事業51</b>	10分	
14:05～14:10	(所管部課入替え)	5分	
14:10～14:20	<b>ヒアリング：事務事112</b>	10分	
14:20～14:25	(所管部課入替え)	5分	
14:25～14:35	<b>ヒアリング：事務事業259</b>	10分	
14:35～14:40	(所管部課入替え)	5分	
14:40～14:50	<b>ヒアリング：事務事業48</b>	10分	
14:50～14:55	まとめ・事務連絡	5分	ヒアリングのまとめ（会長）、事務連絡（事務局）

## 令和 4年度 杉並区施策評価表 I

施策	32	地域住民活動の支援と地域人材の育成
目標	05	人を育み共につながる心豊かなまち
施策担当課	地域課	関係課 区民産業振興せ児童青少年生涯学習推進

施策目標	<p>○地域住民や町会・自治会をはじめとする地域活動団体間の協働により、地域の課題は区民が自ら考え解決していく「自治型コミュニティ」の形成が進んでいます。</p> <p>○協働事業の推進により、区と地域活動団体間、あるいは地域活動団体間の相互のネットワークが形成され、地域課題を解決するための「協働の輪」が広がっています。また、NPOの活動に対する区民の理解が深まり、NPO支援基金への寄附が増加するなど、活動しやすい環境が整ってきています。</p> <p>○地域社会に貢献する人材や、協働の担い手となる人材が育ってきています。</p>
------	--

活動指標	成果指標
指標名 (1) 地域住民活動の支援にかかる事業総数 算式・指標説明 まちの絆向上事業助成助成件数	指標名 (1) 町会・自治会加入率 算式・指標説明 加入世帯数÷住民登録世帯数
指標名 (2) 地域集会施設有料利用者数 算式・指標説明 区民センターなどの地域集会施設を有料で利用した数	指標名 (2) NPO支援基金への寄附件数 算式・指標説明
指標名 (3) すぎなみ地域大学講座受講者数 算式・指標説明 すぎなみ地域大学開催の講座に参加した数	指標名 (3) すぎなみ地域大学講座修了者の地域活動参加率 算式・指標説明 講座修了者のうち地域活動参加者÷講座修了者
指標名 (4) 算式・指標説明	指標名 (4) 算式・指標説明
	指標名 (5) 算式・指標説明
	指標名 (6) 算式・指標説明

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標 (1)	1 件	16.0	20.0	2.0	20.0	5.0		
	活動指標 (2)	2 人	1,042,495	1,250,000	605,690	1,250,000	791,278		
	活動指標 (3)	3 人	1,130	1,200	289	1,200	501		
	活動指標 (4)	4							
成果指標	成果指標 (1)	5 %	44.9	58.0	44.9	60.0	44.5	60 令和 3年度	
	成果指標 (2)	6 件	56	78	40	80	52	80 令和 3年度	
	成果指標 (3)	7 %	77.6	87.5	77.4	88.0	89.6	88 令和 3年度	
	成果指標 (4)	8							
	成果指標 (5)	9							
	成果指標 (6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	2,091,365	2,393,355	2,233,170	4,238,896	4,004,399	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	0	13,290	12,435	0	0		
	(内) 委託費	13 千円	1,794,614	1,970,758	1,889,579	3,837,252	3,644,495		
	職員数	常勤職員数(再任用含)	14 人	43.88	40.96	40.41	39.85		43.26
		上記以外の職員	15 人	17.00	18.00	18.00	17.00		17.00
	人件費 (14+15+16)	17 千円	430,602	402,403	404,593	390,456	407,600		
	総事業費 (11+17)	18 千円	2,521,967	2,795,758	2,637,763	4,629,352	4,411,999		
	国・都等からの補助金等	19 千円	4,285	11,894	7,114	9,595	9,893		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %			4.6	65.6	67.3		
	人件費比率 (17÷18)	21 %	17.1	14.4	15.3	8.4	9.2		



<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>町会・自治会加入率は44.5%（令和4年3月）であり、町会・自治会が抱えている役員の高齢化や後継者不足等の課題により、10年前の50.5%（平成25年3月）から減少が続いています。また、区内のNPO法人数は317団体（令和4年3月）で、役員の高齢化等により解散する団体が増えていること等により、10年前の325団体（平成25年3月）から、同じく減少傾向となっています。</p> <p>また、令和3年度区民意向調査による町会・自治会活動への参加率は5.6%（平成28年度5.9%）、社会貢献・社会参加活動への参加率は5.9%（平成28年度6.5%）と減少する一方、ボランティア活動に参加したいと思っている区民は22%（平成28年度21.7%）となっており、横ばい傾向となっているため、区民の社会参加への意欲を地域活動につなげていくための更なる取組が求められます。</p>
<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>町会・自治会活動の地域活性化に対して、区政協力委託(全体の98.7%が実施)や、町会・自治会専用掲示板設置等助成(24団体)、まちの絆向上事業助成(5団体)等による支援を行い、令和2年度に比べ助成実績はやや増加しました。一方、指標である町会・自治会加入率は44.5%（令和2年度44.9%）となり、令和2年度から微減しているため、今後も引き続き、町会・自治会活動の活性化が図られるよう支援していきます。</p> <p>NPO等の活動支援では、協働提案制度への応募が10件あり、1件を事業採択しています。NPO支援基金への寄附件数は、52件（令和2年度40件）と目標を達成することができませんでしたが、大口の寄附があったことから、寄附金額は大幅に増加しました。今後も様々な手法での寄附金獲得を検討していきます。</p> <p>地域人材の育成では、コロナ禍によりすぎなみ地域大学の講座参加者及び修了者は目標より減少しましたが、講座修了者の地域活動参加率は89.6%（令和2年度77.4%）と目標を上回っており、区民の社会参加意欲に応えることができました。また、阿佐谷地域区民センターの移転整備が完了するとともに、令和3年4月にコミュニティふらっと永福を開設し、コミュニティふらっと成田についても令和4年4月の開設に向け、準備を進めました。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>サービス増</p> <p>地域住民活動の支援では、町会・自治会をはじめとした多様な地域団体による地域の絆を深める取組や地域情報を発信・共有する取組として、ICT化への対応や他の地域団体との連携した取組に対しても支援を行います。また、すぎなみ協働プラザやNPO支援基金の運営を通して、地域の課題解決に向けた自主的な活動に取り組んでいる区内のNPO法人等の地域団体を支援していきます。</p> <p>すぎなみ地域大学では、講座で学んだ知識・技術を生かして、区の行政課題を共に解決するための人材や地域課題の解決に取組む地域団体の人材など、様々な分野で活動する人材を育成していきます。また、すぎなみ協働プラザでは、講座の実施や相談業務を通じて団体の活動支援を行うなど、地域活動を担う人材の育成・支援を進めていきます。</p> <p>区内7地域の集会拠点として設置している地域区民センターについて、高円寺地域区民センター及び荻窪地域区民センターの2カ所の改修を行い、施設の保全の他、機能向上を図っていきます。またコミュニティふらっとの計画的整備を進め、身近な地域における多世代の交流及び活動の場を広げていきます。</p> <p>今後の進め方</p>

# 令和 4年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

( 00032 )

【施策 32】 【施策名称 地域住民活動の支援と地域人材の育成】 ※金額の単位は千円

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 3年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	058 地域住民活動の支援	○	○	111,047	130,371	241,418	現状維持
2	060 NPO等の活動支援	○	○	50,336	25,696	76,032	現状維持
3	061 地域人材の育成	○	○	21,149	17,103	38,252	現状維持
4	062 公共施設予約システム維持管理			54,633	28,463	83,096	推進（拡充）
5	077 地域集会施設等維持管理	○		1,098,049	168,116	1,266,165	推進（拡充）
6	079 阿佐谷地域区民センターの移転整備	○	○	1,427,720	8,927	1,436,647	その他
7	080 高円寺地域区民センターの改修	○	○	174,329	7,425	181,754	その他
8	081 コミュニティふらっとの整備	○	○	213,433	5,924	219,357	推進（拡充）
9	095 高円寺区民事務所の改修	○		24,275	918	25,193	縮小（廃止）
10	296 阿佐谷児童館の移転整備②	○	○	0	834	834	縮小（廃止）
11	515 社会教育センターの改修	○	○	829,428	13,823	843,251	その他
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				4,004,399	407,600	4,411,999	

施策を構成する事務事業に関する特記事項

「阿佐谷地域区民センターの移転整備」事業は、阿佐谷地域区民センターの建設工事が令和3年度で完了したため、事業終了となります。  
 「高円寺地域区民センターの改修」事業は、令和4年度で事業終了となります。  
 「高円寺区民事務所の改修」事業は、セシオン杉並の改修工事が令和4年度に完了するため、令和5年度に引っ越しを行う予定です。  
 「社会教育センターの改修」事業は、令和4年度で事業終了となります。



## 施策の総括評価(平成24年度～令和3年度)

### 施策32 地域住民活動の支援と地域人材の育成

「まちの絆向上事業助成」は、10年間で年平均約14事業、合計144事業の助成を行いました。また、掲示板設置等助成は、目標には届かなかったものの、10年間で826基の設置等に助成し、地域情報の交換及び発信に寄与しました。その他、町会HPの住民支援等を行いました。役員の高齢化や後継者不足等により、町会・自治会加入率は50.5%(平成24年度)から44.5%(令和3年度)に減少しています。今後も町会・自治会加入促進に係る事業の助成などの町会・自治会支援や施設整備、NPO活動支援について、他の地域団体との連携も図りながら、一層の地域活動と地域コミュニティの活性化を促していきます。

すぎなみ地域大学では、10年間で約60種330講座を実施した結果、10,802名が受講しており、地域活動実践講座の修了生4,191名のうち、3,248名(約77.5%)が地域活動に参加しました。今後も積極的に地域活動を担う人材の育成・支援を進めるため、各講座の充実などを図っていきます。

区民センターの改修やコミュニティふらっとの整備など、地域活動拠点の整備については、概ね計画どおりに整備を進めることができました。

指標名	ホップ		ステップ		ジャンプ		
	H24年度 (2012) 実績	H26年度(2014)		H30年度(2018)		R3年度(2021)	
		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
町会・自治会加入率	50.5%	54.0%	49.9%	55.5%	45.9%	60.0%	44.5%
NPO支援基金への寄附件数	18件	—	60件	73件	53件	80件	52件
すぎなみ地域大学講座修了者の地域活動参加率	85.7%	85.0%	84.6%	86.5%	76.2%	88.0%	89.6%



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 058

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	町会・自治会専用掲示板設置等補助		77	基
町会・自治会へのまちの絆向上事業助成		5	団体	1,094
町会・自治会への区政協力委託		156	団体	49,410
地域区民センター協議会への補助		7	団体	36,175
その他 (町会・自治会防犯カメラ設置助成及び区屋外掲示板維持管理費等 )				20,956
事業実績	<p>町会・自治会専用掲示板設置等補助については、老朽化などに伴い、町会・自治会からの要望が依然として多く、令和2年度を上回る77基(令和2年度比53基増)に対して補助を行いました。</p> <p>まちの絆向上事業助成については、コロナ禍により8団体からの申請のうち、3団体は事業を中止したため、5団体(令和2年度比3団体増)に助成を行いました。</p> <p>地域区民センター協議会が実施する地域コミュニティ形成のための事業や地域団体と協働する事業を支援するため、7協議会に対して合計約3,618万円の補助を実施しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>町会・自治会専用掲示板設置等補助については、老朽化した掲示板の改修を優先的に行っています。まちの絆向上事業助成については、活動の活性化及び加入者増を目指し、町会・自治会に対して、助成しています。</p> <p>地域区民センター協議会については、活動拠点となる地域区民センターへの指定管理者制度の導入などの状況変化を踏まえて、協議会事業の見直しに取り組んでいます。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>町会・自治会は後継者不足等の様々な課題を抱えています。町会・自治会活動の活性化及び加入者増のために、町会・自治会専用掲示板設置等補助やまちの絆向上事業助成について、積極的に活用するよう働きかけていきます。</p> <p>地域区民センター協議会については、引き続き、活動拠点となる地域区民センターへの指定管理者制度の導入などの状況変化を捉えて、それぞれの組織体制に応じた事業の見直しを行っていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>新たに活動指標とした「地域住民活動の支援にかかる事業総数」(まちの絆向上事業助成件数)について、令和元年度と比べ、令和2年度、令和3年度はコロナ禍の影響により計画(目標値)と実績値に乖離がある状況です。</p> <p>地域区民センター協議会の活動指標である事業数及び成果指標の参加者数については、多くの事業でコロナ禍の影響により中止又は人数制限が行われましたが、前年度と比べると社会的な行動制限が緩和されたことから、事業数については133件(前年度比42件増)、参加者数についても6,187人(前年度比891人増)と増加しました。</p>
評価と課題	<p>町会・自治会活動の活性化及び加入者増のため、事業助成や活性化講座の開催等、様々な支援をしてきましたが、加入率の減少や役員の高齢化等の課題に対して、歯止めがかかっていない状況にあります。そこで新たに課題解決に向けて、多様な世代が町会・自治会活動に参加できるよう、令和4年度からまちの絆向上事業助成に、従来からある一般型とは別枠の地域連携支援型の区分を新設し、他の地域活動団体と連携して実施する事業についても助成対象とすることとしました。</p> <p>各地域区民センター協議会は、良好な地域コミュニティの形成を図るため、様々な事業に取り組んでいます。引き続き、指定管理者との連携・協力体制を確保しながら各協議会の実情に合わせた事業の見直しに取り組んでいきます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>より多くの区民の方に町会・自治会活動を知っていただくため、すぎなみ地域コムに掲載している杉並区町会連合会ホームページのさらなる充実を図るほか、既に掲載されている町会・自治会に対し、最新の情報の更新などを促していきます。</p> <p>町会への加入促進やコミュニティ活動活性化を目的とするまちの絆向上事業助成について、町会・自治会以外の多様な団体と連携して行う事業を対象とする地域連携支援型の活用も図りながら、様々な地域団体との連携を支援します。</p>	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 060

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)	
	すぎなみ協働プラザ運営業務委託		1	団体	22,852
	ボランティア活動支援事業補助		1	団体	2,376
	NPO活動資金助成事業		7	団体	1,274
	協働提案事業		3	事業	7,044
	その他 (すぎなみ協働プラザ維持管理・地域コム運営・事務費ほか )			16,790	

事業実績

すぎなみ協働プラザでは、団体の運営や地域活動に関する相談、NPO活動資金助成の相談、協働提案制度の相談・サポート、講座の開催など、様々な形でNPO等への活動支援を行いました。NPO支援基金には52件(令和2年度比12件増)の寄附があり、約681万円(令和2年度比611万円増)を積み立てるとともに、NPO活動資金助成として7団体に約127万円(令和2年度比22万円増)の助成金を交付しました。また、協働提案事業について、令和3年度は1事業を採択しました。

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見(期待・要望・苦情等)	平成14年に「杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例」を施行し、杉並区NPO支援基金、杉並区NPO等活動推進協議会、杉並NPO・ボランティア活動推進センターを設置し、NPO等への支援に取り組んできました。その後、平成18年にNPO・ボランティア活動推進センターは、NPO支援センターとボランティアセンターに分かれ、さらに平成27年にNPO支援センターは名称をすぎなみ協働プラザに変更しました。区内NPO法人数は、平成14年の103から令和3年度には317になりましたが、近年は微減傾向にあります。協働プラザが実施したアンケートでは、協働プラザの活動が役に立っているとの回答は91.7%(令和2年度89%)で、高い評価を得ています。
事業の今後(3~5年)の予測と方向性	今後、複雑かつ高度な地域課題が増えていくと予想される中、行政のみで課題解決していくことは困難になりつつあります。協働推進計画に基づき、より多様な主体と連携・協力していく新たな協働の仕組みづくりを推進していく中で、NPO等との協働を一層深化させ、地域課題の解決を図っていくよう、協働提案制度や活動助成金の活用等を通じた継続的な支援を行っていきます。
計画(目標値)に対する実績(指標の分析等)	活動指標である協働プラザの相談件数やイベント参加者数は、新型コロナウイルス感染症による協働プラザの一時閉所や事業の縮小・中止の影響を大きく受けた昨年から大幅に改善しました。協働プラザの利用者アンケートでは、「活動に役に立った」との回答が昨年よりも増加し、協働プラザの地域活動団体への貢献度は高まっています。NPO支援基金への寄附については、イベント時の対面での募金活動や活動資金助成団体にも募金活動の協力を依頼した結果、件数及び寄附金額が昨年実績を大きく上回りました。
評価と課題	協働提案制度については、応募のあった10事業のうち、1事業が採択となりました。また、令和元年度に採択した3事業は、事業1年目での課題を踏まえた上で2年目の事業を実施しました。NPO支援基金については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、普及イベントの実施等により、昨年度より寄附件数及び金額が大幅に増加しました。今後も寄附金の増加に努めていきます。NPO活動資金助成については、資金助成を行った7団体のうち、新規団体が2団体と少ないため、引き続き新規団体へのPR等を図っていきます。区が運営する地域団体情報サイト「すぎなみ地域コム」については、新たな登録団体を増やすため、産業商工団体の登録を積極的に働きかけます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性(見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>公民連携による新たな協働の推進に当たり、令和4年度に新設された公民連携の専管部署との役割分担の下、連携して検討を進めます。また、引き続き、協働提案制度やNPO活動助成金の活用等により、NPO等への支援を図っていきます。</p>	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (1)

( 00063 )

事務事業名称	地域人材の育成	款 03	項 01	目 01	事業 010	整理番号	061		
現担当課名	地域課	係名	地域人材育成係			連絡先 電話番号	4016	昨年度 整理番号	063
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成				予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 04	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)			
令和 3年度 担当課名	地域課					事業評価区分	一般		

## 令和 3年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住、在勤、在学者 (地域活動に関心・意欲のある区民)	根拠 法令 等	(1)  (2)	すぎなみ地域大学運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○多くの区民が様々な分野で地域活動に主体的に参加し、地域活動を支え、「協働の担い手」として活躍している。	活動指標		
		指標名 (1)		実施講座数
		指標説明		
		指標名 (2)		受講者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○修了者の受け皿をつくる各主管課との事前協議を丁寧に行い、必要なボランティアの育成のために望ましいカリキュラムを構成する。 ○すぎなみ地域大学の講座内容について、区民の地域活動への関心度やレベルに応じて、無理なく、しかも楽しく学べるよう、工夫を凝らしていく。 ○修了生を地域活動につなげるため、講座に、体験学習や地域活動実践者との交流を組み入れていく。	指標説明		
		成果指標		
		指標名 (1)		地域活動参加者数
		指標説明		講座修了者のうちの地域活動参加者数
		指標名 (2)		地域活動参加率
		指標説明		講座修了者のうちの地域活動参加者数÷講座修了者数

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度 対計画比 (%)	令和 3年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 (1)	1 講座	26	31	16	32	25	25	78.1	93.1	
活動指標 (2)	2 人	1,130	1,200	289	1,200	501	500	41.8		
成果指標 (1)	3 人	340	400	123	400	268	150	67.0		
成果指標 (2)	4 %	77.6	87.5	77.4	88.0	89.6	80.0	101.8		
事業費	5 千円	14,148	16,687	10,468	22,718	21,149	25,149	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	8,775	10,917	5,791	18,781	17,696	21,342			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	3.16	3.00	3.15	2.00	2.05	2.00		
	上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	27,549	26,154	26,784	17,006	17,103	16,686		
	上記以外の職員	11 千円	3,080	3,080	3,628	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	44,777	45,921	40,880	39,724	38,252	41,835			
単位当たりコスト (12-6)÷1)	13 円	1,722,192	1,481,323	2,555,000	1,241,375	1,530,080	1,673,400			
財源	受益者負担分	14 千円	818	980	305	795	511	634		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	1,985	1,894	1,490	1,930	2,696	2,512		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	2,803	2,874	1,795	2,725	3,207	3,146		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	41,974	43,047	39,085	36,999	35,045	38,689			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	1.8	2.1	0.7	2.0	1.3	1.5			

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 061

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	すぎなみ地域大学の講座企画、受講者募集、講座運営		25	講座
	その他 (すぎなみ地域大学の管理事務費、通信費)			490
事業実績	<p>令和2年度に実施講座の見直し・整理を行ったことや、コロナ禍の為、会場が密になりやすい公開講座を実施しなかったことにより、講座数は25講座と計画より大幅に減少しました。</p> <p>行財政改革推進計画に基づき、令和3年度から地域大学の講座運営、広報業務、一部講座の企画実施を委託したことにより、民間事業者のノウハウを活かした広報を行うなど、より広い層に地域大学の周知が図られました。また事業委託料は1千万円以上増加したものの、委託に伴う職員の2名減、委託内容の一部が都補助金対象に含まれたことにより、令和2年度比約430万円の財政効果を得ました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>平成18年度に12講座で開講したすぎなみ地域大学は、平成30年度には、30講座を超えるまでに増加したものの講座の固定化も見られたため、令和2年度には実施する講座の見直し・整理を行いました。毎年講座修了者の内、約7割を超える受講生が、地域大学で学んだ知識や技術を活かして地域活動に参加しています。杉並区区民意向調査でも、「ボランティア活動への参加」を希望する区民は、毎年2割前後 (令和2年度23%) あり、地域大学の取組は区民の社会参加意欲に応える受皿となっています。また、行財政改革推進計画に基づき、令和3年度から地域大学の業務のうち、講座運営、広報業務などを民間事業者へ委託し、区は方針決定や計画策等の根幹的な業務に専念して、効率的・効果的な地域大学運営を行っています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>令和3年度から、地域大学の講座の運営管理、広報業務、一部講座の企画実施等の業務を民間事業者へ委託しました。民間事業者のノウハウやアイデアを活かしたきめの細かい広報活動の実施により、すぎなみ地域大学のさらに広く周知され、受講申し込みの増加が期待されます。</p> <p>また、これからの時代、環境の変化に対応する新たな分野のボランティアの需要に対応するため、今後、ボランティアとの協働を必要とする各主管課と情報交換・調整を行い、新たな講座の実施 (ボランティア養成) を行っていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和2年度に実施する講座の見直しを行ったこと、コロナ禍の為、会場が密になりやすい公開講座を全て実施しなかったこと、実施した講座も密にならないよう定員を削減したことにより、講座数は25講座、受講者数は501名となり、計画値からは大きく減少しました。一方、地域大学参加者数は計画値より減少しましたが、講座修了者の地域活動への参加者の割合は、目標 (88%) を上回り、90%に迫る結果となり、コロナ禍においても、区民の社会参加意欲は衰えていないことが伺えます。</p>
評価と課題	<p>令和3年度から、地域大学の講座の運営管理、広報業務、一部講座の企画実施等の業務を民間事業者へ委託しました。事業委託により、民間事業者のノウハウやアイデアを活かしたきめの細かい広報活動が行われたことで、すぎなみ地域大学がさらに広く周知され、多くの講座で定員を超える受講申し込みがありました。</p> <p>また、今後の社会環境の変化等に伴う新たな行政課題に対応するため、各主管課のニーズを発掘し、新たな講座を実施することにより、区民のボランティア活動の場を広げ、更なる区と区民との協働を進めていきます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年度から講座運営業務を委託した実績等を踏まえ、必要な見直し・改善を図りながら着実に事業を実施していきます。</p>	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 062

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	公共施設予約システム運用業務委託			
	機器リース料			17,564
	端末回線料			5,264
	その他 (システム維持管理消耗品の購入等)			5,476
事業実績	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う令和3年4月12日からの「まん延防止等重点措置」とそれに引き続き緊急事態宣言の終了 (令和3年9月30日) までの間、集会施設の閉館時間繰り上げを行ったことから、適宜、利用者への周知や予約変更等の対応を図りました。また、阿佐谷地域区民センターの移転・整備やコミュニティふらっと成田の開設に伴い、システム改修を行いました。</p> <p>このほか、令和7年1月に導入予定の内容検討に資するため、令和3年9月から10月にかけて利用者アンケートを実施しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	公共施設予約システムは、平成15年から集会施設、平成17年からスポーツ施設の運用を開始しました。また、平成26年10月にシステムの更新を行い、現在は83施設を対象に運用しています。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	コミュニティふらっとの整備に伴い、順次、システム改修を行います。また、現行システムの保守サービスは令和6年12月で終了することから、次期システムの導入に向けて、令和4年度中に仕様を検討の上、事業者選定を行い、令和5年度中にシステム開発等を実施し、令和7年1月から新システムに移行する予定です。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	新型コロナウイルス感染拡大に緊急事態宣言等の発出が断続的に行われたことから、利用登録者数 (12,837件) は計画 (16,000件) に及びませんでした。情報収集のためにシステムアクセス数 (3,138,680回) は計画 (3,000,000回) を超えており、前年度 (2,946,824回) と比較して回復傾向にあります。
評価と課題	<p>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出が断続的に行われ、集会施設は利用時間変更等の対応を行いました。施設利用に関する情報収集等のため、アクセス数は令和2年度の2,946,824回から令和3年度は3,138,680回に増加しています。</p> <p>令和3年度の次期システム導入検討では、スマートフォン利用における操作性改善やアクセシビリティの確保、アクセス集中による動作遅延の改善等について、利用者アンケートの結果も踏まえた検討を進めており、令和4年度に仕様を確定し、その後の業者選定に繋げていきます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	令和5年度には、次期システムの導入 (令和7年1月予定) に向け、システム開発を行うため、予算が増額となる予定です。	

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (1)

( 00074 )

事務事業名称	地域集会施設等維持管理	款	03	項	01	目	03	事業	004	整理番号	077	
現担当課名	地域課	係名	地域施設係				連絡先 電話番号	3765	昨年度 整理番号	079		
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	目標	05	施策	32	計画事業	02				
令和 3年度 担当課名	地域課						事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者及び利用団体	根拠法令等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○地域住民の活動拠点である地域区民センター、区民集会所、区民会館、区民事務所会議室及びコミュニティふらっとにおいて、区民相互の交流や自主的な活動が行われるよう適切な施設の維持管理、運営を行う。	活動指標	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○地域区民センター、区民集会所、区民会館、区民事務所会議室及びコミュニティふらっとを良好な状態で利用者に供するための維持管理業務を行う。 ○区民や区民団体等を対象に、各施設内にある集会所、和室及びホール等の貸出業務を行う。	指標名 (1)	有料利用者数
		指標説明	
		指標名 (2)	施設利用回数
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	施設利用率
		指標説明	利用回数÷利用可能回数
		指標名 (2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度 対計画比 (%)	令和 3年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 (1)	1 人	1,042,495	1,250,000	605,690	1,250,000	791,278	1,250,000	63.3	95.8	
活動指標 (2)	2 回	159,232	150,000	117,220	150,000	165,058	180,000	110.0		
成果指標 (1)	3 %	52.5	56	44.0	50	51.6	51	103.2		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	1,004,597	1,115,163	1,032,717	1,146,334	1,098,049	1,090,639	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	814,840	881,567	835,764	953,111	912,346	973,238			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	17.47	16.97	16.05	15.00	17.05	16.65		
	上記以外の職員	9 人	8.40	8.40	8.40	9.10	9.10	8.40		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	149,940	143,303	136,473	123,591	134,673	131,470		
	上記以外の職員	11 千円	25,872	25,872	30,475	33,015	33,443	30,870		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	1,180,409	1,284,338	1,199,665	1,302,940	1,266,165	1,252,979			
単位当たりコスト (12-6)÷1	13 円	1,132	1,027	1,981	1,042	1,600	1,002			
財源	受益者負担分	14 千円	150,650	147,502	92,342	116,954	109,440	117,538		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	150,650	147,502	92,342	116,954	109,440	117,538		
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円	1,029,759	1,136,836	1,107,323	1,185,986	1,156,725	1,135,441		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	12.8	11.5	7.7	9.0	8.6	9.4			



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 077

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	地域区民センター建物管理業務委託	7	所	451,776
区民集会所建物管理業務委託	11	所	253,499	
コミュニティふらっと建物管理業務委託	4	所	95,134	
区民会館建物管理業務委託	3	所	86,398	
その他（光熱水費、施設修繕費、消耗品購入費）			211,242	

事業実績

移転・整備を行っていた阿佐谷地域区民センターは、令和4年2月に竣工、同年4月18日に供用を開始し、梅里区民集会所を含めて指定管理者制度による管理運営となりました。また、同じく整備を行っていたコミュニティふらっと成田は、令和4年4月1日に供用を開始しています。

高円寺地域区民センターは、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場とするため、大規模改修工事の着工を令和3年12月に延期しました。（仮称）コミュニティふらっと高円寺南は、旧杉並第八小学校解体工事（令和3年8月～令和4年5月）に着手するとともに、実施設計を進めました。

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>地域区民センター及び区民集会所については、平成14・15年度に運営協議会による運営から民間事業者への業務委託に変更しました。なお、高井戸地域区民センターは平成24年5月から、下高井戸区民集会所は平成29年4月から、西荻地域区民センターは令和2年10月から、西荻南区民集会所は令和3年4月から、指定管理者による運営を行っています。また、区民会館については、平成26年度に区の直営から民間事業者への業務委託に変更しました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大により、集会施設の貸出休止（令和2年3月～5月）や閉館時間の繰り上げ（断続的に令和3年1月～9月）を行いました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高円寺地域区民センターの大規模改修工事は、令和5年2月に終了し、同年4月から指定管理者による運営を開始します。</p> <p>地域区民センターは、施設・設備の老朽化が著しい施設については、施設の長寿命化も見据え、大規模改修等を実施してきました。今後は、区立施設再編整備計画（第2期）・第1次実施プランに基づき、築40年を目安に、順次、長寿命化改修を実施することで、必要な保全を行うとともに、利用率の低い部屋については、新たなニーズへの対応やバリアフリー化の推進、防災拠点施設としての機能向上を図るなど改修し、より使いやすい施設としていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>有料利用者数（791,278人）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画（1,250,000人）を大幅に下回ったものの、前年度（605,690人）と比べて3割増加しています。</p> <p>施設利用回数（165,058回）は、計画目標（150,000回）を達成しており、施設利用率も前年度（44%）より上昇（51.6%）しました。</p>
評価と課題	<p>阿佐谷地域区民センターの移転整備、コミュニティふらっと成田の整備を進め、令和4年4月の開設に繋げることができました。</p> <p>高円寺地域区民センターは、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場とするため、大規模改修工事の着工を令和3年12月に延期しましたが、令和5年5月のリニューアルオープンに向けて、着実に工事を進めています。また、荻窪地域区民センターの長寿命化改修後の管理運営方法について、区政経営改革推進計画（第1次）に基づく検討を進めます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	区立施設再編整備計画（第2期）・第1次実施プランに基づき、令和5年度に荻窪地域区民センターの長寿命化改修の設計を行います。	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 079

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	建設工事			
工事監理				23,100
初度調弁				41,280
土地借料の支出				644
その他 (開設準備等 )				9,477
事業実績	令和2年3月から着工した阿佐谷地域区民センターの建設工事は、令和4年2月をもって完了しました。また、令和4年4月の開設に向け、円滑かつ的確な開設準備を進めました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	近隣病院の移転・建替え計画を受けて、平成29年度に新たに杉並第一小学校等施設整備等方針を策定し、阿佐谷地域区民センターを阿佐谷けやき公園プール跡地に移転・整備することとしました。また、バリアフリー法等に基づくサイン表示について検討しました。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	平成4年4月から、指定管理者制度により、民間事業者のノウハウを活かした効率的・効果的な管理運営を行っていきます。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	令和元年10月に実施設計を終了し、建築工事は令和2年3月に着手し、平成4年2月をもってを完了しました。
評価と課題	建設工事について、引き続き関係者や工事現場の周辺住民への周知に努めました。また、令和4年4月の開設に向け、円滑かつ的確な開設準備を進めました。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	阿佐谷地域区民センターの建設工事は、令和3年度で完了したため、事業終了となります。	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 080

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	改修工事			
	高円寺地域活動係の仮設事務室開設・運営			3,697
	その他 ( )			
事業実績	高円寺地域区民センターは、令和3年4月から10月まで新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として使用したため、工事着工を令和3年7月から12月に延期しました。令和3年度の工事の進捗は、全体の6%となっています。また、指定管理者候補者の公募・選定を行いました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	地域住民や施設利用者からは、特定の利用者によるロビーの占用等について意見が寄せられています。これらの意見も踏まえつつ、使いやすい施設となるよう改修設計を行いました。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	大規模改修工事を令和3年12月から令和5年2月まで実施しつつ、令和5年5月の利用再開に向けて準備を行います。再開後は、社会教育センターを含めた複合施設として新たに指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを生かして一層効率的・効果的な管理運営を行っていきます。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	令和元年8月に大規模改修基本計画を策定し、同年10月から令和3年3月まで基本設計及び実施設計を行った上で、令和3年12月から改修工事に着手しました。
評価と課題	令和3年度は、12月から大規模改修工事を開始し、指定管理者候補者の公募・選定を行いました。再開までの間、引き続き、利用者に対し、休館中の代替活動場所の案内や、再開後の利用案内などを丁寧に行っていきます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	高円寺地域区民センターの大規模改修は令和4年度で事業終了となります。	

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00777)

事務事業名称	コミュニティふらっとの整備	款 03	項 01	目 04	事業 005	整理番号	081
現担当課名	地域課	係名	地域施設係	連絡先 電話番号	3768	昨年度 整理番号	084
上位施策No・施策名	32 地域住民活動の支援と地域人材の育成			予算事業区分	投資事業		
事業開始	令和元年度	実行計画事業	目標 05	施策 32	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和 3年度 担当課名	地域課					事業評価区分	一般

## 令和 3年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者及び利用団体等	根拠 法令 等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立コミュニティふらっと条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○集会施設である区民集会所、区民会館、特定の年齢層を対象とした施設であるゆうゆう館、機能移転後の児童館施設を対象に、新たな地域コミュニティ施設に再編整備することで、施設の有効活用を図るとともに、誰もが身近な地域で気軽に活動でき、多世代の交流が生まれる環境を整える。	活動指標	施設数
		指標名 (1)	施設数
		指標説明	開設したコミュニティふらっとの数
		指標名 (2)	施設数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○「区立施設再編整備計画」に基づき、区民集会所、区民会館、ゆうゆう館、機能移転後の児童館施設を対象に、段階的に、新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」に再編整備する。 ○令和4年度を始期とする「区立施設再編整備計画 (第2期) 第1次実施プラン」の策定に向け、関係各課と協議の上、内容を決定した。	指標説明	開設したコミュニティふらっとの数 (累計)
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1	0	3	3	1	1	1	100.0	96.8
活動指標 (2)	2	0	3	3	4	4	5	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5	千円	203,712	697,204	665,762	220,545	213,433	295,058	特記事項 前年度事業費からの増減理由：令和2年度は、令和3年1月及び同年4月に開設する4施設を含む6施設の整備に係る費用が必要であったが、令和3年度は2施設に減少したため。
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	
(内) 委託費	7	千円	203,712	632,940	610,859	206,199	201,919	295,058	
職員数	8	人	0.75	0.64	0.77	0.64	0.71	0.64	
	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費	10	千円	6,539	5,580	6,547	5,442	5,924	5,340	
	11	千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+10+11)	12	千円	210,251	702,784	672,309	225,987	219,357	300,398	
単位当たりコスト (12÷1)	13	円	0	234,261,333	224,103,000	225,987,000	219,357,000	300,398,000	
財源	14	千円	0	0	0	0	0	0	
	15	千円	0	0	0	0	0	0	
	16	千円	0	0	0	0	0	0	
	17	千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	210,251	702,784	672,309	225,987	219,357	300,398	
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 081

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	コミュニティふらっと成田の建設工事			
	旧杉並第八小学校の解体工事			14,732
	その他（初度調弁、開設準備等）			16,080
事業実績	<p>コミュニティふらっと成田の建設工事は計画どおり進捗し、完了しました（令和2年10月～令和4年1月）。</p> <p>（仮称）コミュニティふらっと高円寺南の整備に向け、旧杉並第八小学校解体工事（令和3年6月～令和4年6月）に着手するとともに、実施設計を進めました（令和3年3月～令和4年6月）。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>多世代が身近な地域で活動し、交流できる場所を提供するため、「区立施設再編整備計画」に基づき、新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」の再編整備を段階的に進めており、平成31年度から令和3年度までに、既存施設の転用により3施設、他施設の改築に合わせた複合化により3施設の整備に取り組むこととしています。</p> <p>既に開設している施設においては、ゆうゆう館などの機能継承が概ね順調になされていると考えていますが、引き続き利用者等の声を踏まえ、今後の整備を進めていきます。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティふらっと成田 令和4年4月開設</li> <li>○（仮称）コミュニティふらっと方南 令和5年度開設予定</li> <li>○（仮称）コミュニティふらっと本天沼 令和6年度開設予定</li> <li>○（仮称）コミュニティふらっと高円寺南 令和6年度開設予定</li> <li>○（仮称）コミュニティふらっと浜田山 令和7年度開設予定</li> <li>○（仮称）コミュニティふらっと上荻窪 令和8年度開設予定</li> <li>○（仮称）コミュニティふらっと高井戸西 令和9年度開設予定</li> </ul>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和3年4月に永福図書館等を併設するコミュニティふらっと永福を開設しました。令和4年4月に開設するコミュニティふらっと成田も、計画どおり建設工事が竣工し、初度備品の購入及び安全対策工事等の開設準備作業を完了しています。</p> <p>高円寺図書館等を併設する複合施設として整備する（仮称）コミュニティふらっと高円寺南は、地域の方からの要望や機能継承する施設の利用状況等を踏まえ、実施設計を進めました。</p>
評価と課題	<p>計画どおり、令和3年4月にコミュニティふらっと永福を開設し、令和4年度のコミュニティふらっと成田の開設についても、遅滞なく準備が進行しました。</p> <p>令和5年度以降に開設予定のコミュニティふらっとの整備に当たっても、引き続き当該地域における既存施設の利用状況や地域特性のほか、先に開設した5施設の運営状況も考慮しながら、地域の方に親しまれる施設づくりに取り組んでいきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>3施設（（仮称）コミュニティふらっと方南、本天沼、高円寺南）の建設工事に係る費用を計上するとともに、3施設（（仮称）コミュニティふらっと上荻窪、浜田山、高井戸西）の設計に係る費用を計上します。</p>	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 095

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	改修工事委託			
	仮移転先改修工事費等			1,007
	その他 ( )			
事業実績	<p>令和3年度は、基本設計及び実施設計を実現するために関係所管課と打ち合わせを重ね、利用者の利便性や効率的な業務を遂行できる執務室になるよう調整を進めました。また、令和3年11月の仮移転に向け、近隣住民の方や地区町会連合会等で説明を行うとともに、仮移転先を分かりやすく案内するための誘導サイン等を設置し、区民への周知を丁寧に行いました。その結果、大きなトラブルはなく、仮移転先で業務を継続することができました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>セシオン杉並がワクチン接種会場になったことで、セシオン杉並の供用再開時期は、当初から4箇月遅れとなる令和5年5月に変更されました。</p> <p>令和3年度は変更後の計画通りに事業が進んでおり、今後、関係所管課と基本設計及び実施設計以外の部分で、区民が利用しやすい区民事務所になるようレイアウト等を調整していきます。</p> <p>【主なスケジュール】                      令和元年度 基本設計 令和2年度 実施設計 令和3・4年度 改修工事                      令和5年度 セシオン杉並の供用開始</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>令和5年2月に改修工事竣工、令和5年4月末にセシオン杉並へ引っ越し、令和5年5月からセシオン杉並の供用を再開する予定です。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により仮移転及び改修工事が延期されました。令和3年度は変更後の計画通りに事業が進みました。</p>
評価と課題	<p>仮移転については、事前準備を入念に行ったため、トラブルなくスムーズに仮移転先で業務を継続することができました。セシオン杉並の改修工事については、より区民が利用しやすい施設になるよう、関係課とレイアウト等の調整を進めました。</p> <p>引き続き、区民や職員にとって利便性の高い施設になるよう関係所管課との調整や、誰もが使いやすいユニバーサルデザイン等の備品導入の検討を行い、令和5年4月末に仮移転先からスムーズに引っ越しができるよう準備を進めます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	縮小
	II. 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和5年度予算には、令和5年4月末に仮移転先からセシオン杉並へ引っ越しをするための費用を計上する予定ですが、令和4年度に改修工事が完了するため、全体の予算規模としては縮小を見込んでいます。</p>	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 296

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	建設工事			
工事監理				0
解体設計				0
解体工事				0
その他 ( )				
事業実績	阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの統合を図り、複合施設として整備するための建設工事を行い、阿佐谷学童クラブの受入枠を47人拡大しました。 また、阿佐谷児童館移転後の施設を解体するため、解体設計を行い、解体工事に着手しました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	工期が令和4年2月18日に延期になりましたが、その後は特に問題もなく建設工事が行われ、予定どおり施設が完成しました。阿佐谷児童館は予定どおり令和4年4月から運営を開始します。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	縮小
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	令和4年2月18日建設工事が完了し、同年3月1日に施設の引き渡しがありました。	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 515

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	改修工事			
	その他 ( )			
事業実績	<p>社会教育センターは、令和3年4月から10月まで新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として活用したことにより、工事の着工を令和3年7月から12月に延期しました。 改修工事着工から令和4年3月までの期間は、外構や内装など、主に改修に向けた解体工事を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>社会教育センターは平成元年6月に開館し、老朽化が進んでいることから、「区立施設再編整備計画 (第一期)・第二次実施プラン (平成31~33年度)」に基づき、併設する高円寺地域区民センターと合わせて大規模改修を行います。 利用者からの要望には、ホール座席の改修やトイレの段差解消などがあります。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>セシオン杉並は、令和5年5月 (予定) のリニューアルオープンに向けて改修工事を進めていきます。 リニューアル後は指定管理者が建物を管理し、効果的・効率的な施設管理と、利用率の増加を図っていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>建物がワクチン接種会場として活用し改修工事の着工が遅れた関係から、令和3年度の実績は目標値を下回る結果となっています。 改修工事の進捗に並行して、工事関係者と区側による「改修工事定例会」や関係各課による「所管課定例会」を開催するなど、改修工事を踏まえた緊密な連絡調整を図りました。</p>
評価と課題	<p>改修設計図や改修工事の進捗状況に基づき検討を重ねていく過程で、工事関係者や関係各課と連携し、改修後の区民の利便性向上や保守管理のしやすさ、コストのさらなる圧縮に向け、様々な協議・調整・修正作業を行いました。 今後も、施設のリニューアルオープンに向けて、工事的確な進捗管理に努めます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	縮小
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	<p>改修工事は令和5年2月までの予定です。そのため、社会教育センターの改修事業は令和4年度をもって終了します。</p>	

# 令和4年度外部評価 質問票

## 施策32 地域住民活動の支援と地域人材の育成(担当:田淵委員)

質問No.	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
1	地域住民活動の支援	委員記入欄	町会・自治会活動で、杉並区ならではの取組はありますか。
		所管課回答欄	地域の防犯意識を高めるため、まち歩きをからめた防犯イベントの開催や小学校敷地を活用した花壇づくりに取り組むなどの地域活動により、まちの安全・安心や美化に寄与している町会・自治会がございます。
2	地域住民活動の支援	委員記入欄	地域区民センター協議会が実施する事業等を支援するための、7協議会への補助(合計約3,618万円)について、区としてその効果をどう評価されているのでしょうか。
		所管課回答欄	各地域区民センター協議会の活動への支援の結果、 ・地域の文化施設を活用した講座の実施 ・防災講演会の開催により、町会長を含む多数の参加などがありました。これらにより、 ・地域の伝統文化に触れる機会の推進 ・コロナ禍における地域防災のノウハウや震災救済所の立ち上げ方の普及・浸透 ・多様な世代の参加者による世代間交流の促進 ・講座等への参加を通じた高齢者の外出促進・交流による健康維持など、良好な地域コミュニティの形成・強化に寄与しました。
3	地域住民活動の支援	委員記入欄	特記事項の記載内容について、データの継続性はどうか担保されているのでしょうか。
		所管課回答欄	この度、事務事業である「地域住民活動の支援」をより適切に評価することが可能になるとの考えから一部の指標を変更しましたが、従前の指標についても、①「区政協力委託を締結した町会・自治会の割合」と②「地域区民センター協議会(7団体)が実施した事業1回あたり参加者数」とも引き続きデータ把握しております。
4	NPO等の活動支援	委員記入欄	協働提案事業について、令和元年度に採択された3事業は課題を踏まえて2年目の事業を実施したとの記載はありますが、杉並区NPO等活動推進協議会が行った評価はどのような内容で、区としてその評価をどう捉えているのでしょうか。
		所管課回答欄	NPO等活動推進協議会は事業計画、協働への取組、事業の成果について評価(5段階)を行い、1事業が「高く評価できる」(最高評価)、2事業が「評価できる」(上位から2番目の評価)と評価しました。それぞれの事業の課題については事業者と事業担当課で協議を行い、可能な内容はその後の事業に反映することができました。
5	NPO等の活動支援	委員記入欄	「すぎなみ地域コム」について、「評価と課題」欄で今後の方針は示されていますが、評価がなされていません。当該事業を実施する上で、この活動をどう捉えているのでしょうか。
		所管課回答欄	地域活動への参加を情報面から支援するために区が運営している、地域活動応援サイト「すぎなみ地域コム(以下「サイト」)」は、NPO等の団体活動を周知するツールとして必要であると考えています。サイト上でのイベント紹介にとどまらず、地域活動団体が独自に運営するウェブサイトやSNSにもリンクさせることが可能であり、また、サイトの登録団体等に向けて、操作説明会やSNSに関する講座を開催するなど、団体の情報発信力を高めることに寄与しています。

質問No.	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
6	地域人材の育成	委員記入欄	指標のデータから、受講者数＝講座修了者数ではないと思われます。その場合、修了率は6割弱となりますが、これをどう捉えますか。
		所管課回答欄	すぎなみ地域大学の講座には、修了後、具体的なボランティア活動の受け皿がある「地域活動実践コース」と、何か地域で活動したいがどうしたらいいかわからないという方々を対象とした「地域活動基礎コース」があります。受講者数については、地域大学自体の事業成果として「地域活動基礎コース」も含めていますが、あらかじめ地域活動参加の受け皿が想定されていないため、地域活動参加率の根拠となる講座修了者数には含めていません（「地域活動実践コース」受講者の講座修了率は9割弱）。
7	地域人材の育成	委員記入欄	事業を民間（ひらがなネット）に委託したことにより得られた効果について、具体的にお示しください。
		所管課回答欄	業務委託をしたことで、特に広報活動では、従来通りの区の施設への募集案内の配布だけでなく、区内の民間店舗での募集案内の配布や、ガイドブックの発行などきめ細かい周知がされ、定員を超える応募を得た講座が増加（昨年比7講座増）するなど、効率的・効果的な講座運営を行うことができました。また、事業委託費が1,350万円かかるものの職員2名（会計年度任用職員含む）の減により、約150万円の経費節減の他、これまで職員が対応していた為計上されなかった講座運営にかかる費用が委託により都の補助金に計上されるようになったため100万円以上の補助金が交付されることとなりました。
8	公共施設予約システム維持管理	委員記入欄	さざんかねっとシステム入替に向けたアンケート集計結果では令和6年7月にシステム入替予定とありますが、「事業の今後の予測と方向性」欄では令和7年1月から新システムに移行予定となっています。このシステムと「さざんかねっと」とは別のシステムなのでしょうか。
		所管課回答欄	新システムとは、「さざんかねっと」の入替後のシステムを指しますが、同じシステムです。現行のさざんかねっとは、令和6年7月入替予定でしたが、令和6年12月まで延長できることになったことから、「事業の今後の予測と方向性」欄では移行時期を令和7年1月と記載しました。
9	公共施設予約システム維持管理	委員記入欄	さざんかねっとシステム入替に向けたアンケートに寄せられた声を、区としてどう捉えていますか。
		所管課回答欄	10歳代から80歳代まで幅広い年代から回答をいただきました。現行システムはパソコンからのアクセスを想定した設計となっていますが、現在はスマートフォン利用者が多数を占めており、「画面が見づらい」「画面遷移を簡略化してほしい」との声が多数寄せられました。アンケート結果から、ユーザーインターフェイスを時代に合わせて大幅に改善すること、また、アクセシビリティに配慮することが重要と考えています。
10	地域集会施設等維持管理	委員記入欄	地域区民センター及び区民集会所について、運営方法の変遷が一覧できる既存の資料があれば、ご提示ください。 * 新たに作成する必要はありません。
		所管課回答欄	運営方法の変遷が一覧できる既存の資料はありませんが、平成20年12月にまとめられた「地域集会施設等運営協議会のあり方検討会報告書」4頁において、「昭和62年から地域住民等で構成する運営協議会が集会施設の自主管理を行ってきたが、負担の増大により自主管理方式を見直し、平成14～15年度にかけて、管理運営業務が区に移管され、受託業者による管理が始まった」旨の記述があります。

質問No.	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
11	施策全般	委員 記入 欄	<p>コロナ禍において、対応が困難な面も多い施策ではあったと思いますが、コロナ禍というピンチをチャンスに捉えて実施した取組、コロナ禍だからこそ出来た取組はありますか。</p>
		所管 課 回 答 欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会活動において、Zoomによる会議などICT化が進むきっかけとなる取組がなされました。</li> <li>・地域区民センターなどの集会施設において、コロナ発生時の連絡体制の構築など危機管理体制を見直すことができました。</li> </ul>



## 令和 4年度 杉並区施策評価表 I

施策	27	学校教育環境の整備・充実
目標	05	人を育み共につながる心豊かなまち
施策担当課	学校整備課	関係課 宮繕課 庶務課 教育人事企画課 済美教育

施策目標	<p>○安全で良好な学習環境が整備された学校で、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。</p> <p>○学校の図書環境が充実して、子どもたちが本と触れあう機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。</p> <p>○電子黒板とタブレット端末により、動画やカラー画像など、多彩で魅力的なデジタル教材の利用ができる環境が整備されています。</p>
------	--

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	杉並第二小学校の設計進捗率	指標名 (1)	小中学校の老朽改築校数
算式・指標説明	改築に係る設計進捗率 (基本設計30%・実施設計70%)	算式・指標説明	杉並区立小中学校老朽改築計画により着手した校数
指標名 (2)	富士見丘小・中学校の設計進捗率 (H30年度～R2年度)、工事進捗率 (R3年度～)	指標名 (2)	児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数
算式・指標説明	工事進捗率は、富士見丘小学校・中学校全体の工事の進捗率	算式・指標説明	
指標名 (3)	学校司書配置校数	指標名 (3)	学校図書館の年間平均貸出冊数 (児童・生徒一人当たり) (小学校)
算式・指標説明	学校司書が配置されている小中学校数	算式・指標説明	学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数
指標名 (4)	教職員用パソコンの配備台数	指標名 (4)	学校図書館の年間平均貸出冊数 (児童・生徒一人当たり) (中学校)
算式・指標説明		算式・指標説明	学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数
		指標名 (5)	
		算式・指標説明	
		指標名 (6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標	活動指標 (1)	1	%	30	100	80	100	100		
	活動指標 (2)	2	%	30	100	100	10	5		
	活動指標 (3)	3	校	64	63	63	63	63		
	活動指標 (4)	4	台	2,283	2,315	2,315	2,393	2,405		
成果指標	成果指標 (1)	5	校	7	8	8	8	8	令和 3年度	
	成果指標 (2)	6	人	3.9	3.0	1.0	1.0	1.0	令和 3年度	
	成果指標 (3)	7	冊	45.9	47.0	49.0	48.0	54.1	48	令和 3年度
	成果指標 (4)	8	冊	11.6	14.5	12.0	15.0	11.2	15	令和 3年度
	成果指標 (5)	9								
	成果指標 (6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	2,941,339	8,888,822	8,555,178	5,536,865	5,327,530	特記事項 富士見丘小学校移転用地の買戻しを行った令和2年度に比べて、令和3年度では事業費が減少しています。	
	(内) 投資的経費等	12	千円	1,032,458	748,836	655,980	1,920,534	1,644,736		
	(内) 委託費	13	千円	1,876,444	2,208,785	1,923,600	3,737,745	3,546,112		
	職員数	14	人	105.23	99.90	104.46	95.12	95.89		
	上記以外の職員	15	人	1.38	1.00	1.00	0.00	0.00		
	人件費 (14+15+16)	17	千円	808,084	745,300	781,844	717,134	713,568		
	総事業費 (11+17)	18	千円	3,749,423	9,634,122	9,337,022	6,253,999	6,041,098		
	国・都等からの補助金等	19	千円	226,062	1,464,134	1,388,248	305,055	369,725		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20	%			149.0	△35.1	△35.3		
	人件費比率 (17÷18)	21	%	21.6	7.7	8.4	11.5	11.8		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>令和2年度に策定した「杉並区立学校施設整備計画」では、将来を見据えた学校づくりとして、老朽改築や長寿命化改修の考え方を示しました。その具体化を図るため、令和3年度に策定した杉並区実行計画において、老朽改築や長寿命化改修の実施校を公表し、着実に事業実施する必要があります。</p> <p>学校図書館は、令和3年度末において蔵書冊数の基準である「学校図書館図書標準」以上の冊数を保有する学校が、小・中学校ともに95%以上となりました。なお、蔵書については、毎年の更新が必要であり、今後も学習に適した蔵書となるよう努めていきます。</p> <p>令和3年2月にタブレット端末を児童・生徒が1人1台専用で利用できるよう配備を完了し、子どもたちのオンライン学習にも対応できる環境を整えるとともに、令和4年1月に校務パソコンの更新作業を実施するなど通信環境の改善に取り組みました。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>杉並第二小学校、富士見丘小学校・富士見丘中学校の改築事業について、計画どおり建築工事に着手し、子どもたちの安全で良好な学習環境の整備を進めました。中瀬中学校では、基本設計が令和3年7月に完了し、改築工事に向けて事前調査を進めました。また、令和元年度から開始した小・中学校の屋内運動場への空調設備設置等整備を完了しました。</p> <p>学校図書館においては、学校司書の全校配置から10年が経過し、活発な読書活動や学校図書館を利用した授業が定着してきました。蔵書冊数の基準となる「学校図書館図書標準」について、全校達成まで残り3校となりました。また、学校図書館を利用する授業の増加、読書月間等での読書イベントや学校司書による本の紹介などの取組により、貸出冊数が全国平均を上回るなどの成果につながりました。</p> <p>情報教育の推進については、令和4年1月に校務パソコンの更新作業を実施しました。また、校内ネットワーク用の無線アクセスポイントを増設し、通信環境を改善するとともに、児童・生徒1人1台専用タブレット端末で利用可能なA I型学習ドリルの導入などにより、家庭学習環境の充実を図りました。</p>
--	---

<p>今後の施策の方向性</p> <p>改善・見直しの方向</p> <p>中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>拡充</p> <p>杉並第二小学校、富士見丘小学校・富士見丘中学校については、令和3年度から建築工事に着手し、杉並第二小学校は令和5年11月、富士見丘小学校は令和5年6月に校舎竣工の予定です。中瀬中学校については、改築検討懇談会による検討や基本設計が完了し、実施設計や仮設校舎の設置など改築工事に向けた取組を進めます。また、学習環境改善のため、普通教室、特別教室や屋内運動場への空調設備の整備が完了し、続いて少人数教室などへの整備に取り組んでいきます。</p> <p>学校図書館においては、今後も小中学校全校に学校司書を配置し、図書館機能の充実を図っていきます。児童・生徒の探究学習や情報活用能力の育成のため、学校図書館活用実践校事業において、デジタル資料と図書資料の併用により授業を行うモデル実施校を支援し、その取組内容を研修などを通じて全校へ共有していきます。</p> <p>学校ICTの推進については、児童・生徒1人1台専用タブレット端末と学習支援ソフトやデジタル教材を効果的に活用し、学習を進めていきます。また、タブレット端末を安定的かつ効果的に運用できるよう杉並区デジタル戦略アドバイザー制度を活用するなどし、通信ネットワーク環境の改善に取り組んでいきます。</p>
--	---

# 令和 4年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

( 00027 )

【施策 27】 【施策名称 学校教育環境の整備・充実】 ※金額の単位は千円

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 3年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1	464 情報教育の推進	○	○	2,132,731	41,715	2,174,446	推進（拡充）
2	472 教職員の研修②	○	○	2,076	1,669	3,745	推進（拡充）
3	477 学校図書館の充実	○		2,626	18,939	21,565	現状維持
4	483 小学校の維持管理			117,559	297,141	414,700	現状維持
5	488 小学校の施設整備			612,743	74,810	687,553	現状維持
6	489 小学校空調設備整備		○	107,480	4,595	112,075	現状維持
7	490 富士見丘小・中学校の改築	○	○	1,069,070	8,260	1,077,330	推進（拡充）
8	491 杉並第二小学校の改築	○	○	952,262	17,604	969,866	推進（拡充）
9	493 中学校の維持管理			44,790	177,008	221,798	現状維持
10	498 中学校の施設整備			171,169	36,529	207,698	現状維持
11	499 中学校空調設備整備		○	42,094	4,595	46,689	現状維持
12	500 富士見丘小・中学校の改築	○	○	6,759	8,260	15,019	推進（拡充）
13	501 中瀬中学校の改築	○	○	66,171	22,443	88,614	推進（拡充）
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				5,327,530	713,568	6,041,098	

施策を構成する事務事業に関する特記事項





## 施策の総括評価(平成24年度～令和3年度)

### 施策27 学校教育環境の整備・充実

平成23年度に着手した校舎改築事業により、耐震上課題のある学校施設の改築事業が完了しました。その後、学校施設の老朽化が進む中で、平成26年度に第1次改築計画を策定し、老朽改築事業に取り組んできました。さらに、令和2年度には施設の長寿命化の考えを取り入れた「杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画)」を策定し、引き続き計画的に子どもたちの安全確保と教育環境の維持・向上を図るため、学校施設の改築や長寿命化改修などに取り組んでいきます。

学校図書館においては、平成24年度に小中学校全校に学校司書を配置することにより、機能の充実が図られ、活発な読書活動や学校図書館を活用した授業の実践などを充実することができました。今後も、更なる学校図書館活用の充実を図ることにより、小中学校生の読書の質の向上に取り組んでいきます。

学校ICTにおいては、平成26年度には全普通教室への電子黒板設置を完了し、平成29年度には校内無線LAN環境の整備を完了しました。また、令和3年2月には児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備を完了しました。今後はより一層、専用タブレット端末の安定的かつ効果的な運用ができるよう通信ネットワーク環境の改善を図っていきます。

指標名	ホップ			ステップ		ジャンプ		
	H24年度 (2012) 実績	H26年度(2014)		H30年度(2018)		R3年度(2021)		
		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	
小中学校の老朽改築校数	—	—	0校	6校	6校	8校	8校	
児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数	9.1人	—	6.3人	4.4人	4.0人	1.0人	1.0人	
学校図書館の年間平均貸出冊数 (児童・生徒一人当たり)	小学校	29.7冊	36冊	38.5冊	44冊	46.8冊	48冊	54.1冊
	中学校	6.7冊	12冊	9.1冊	14冊	12.2冊	15冊	11.2冊



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 464

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	電子黒板システム、タブレット端末賃貸借及び運用保守	64	校	1,041,503
区立小・中学校、特別支援学校ネットワーク機器賃貸借及び運用保守	64	校	518,573	
校務パソコン、サーバ等機器の賃貸借及び運用保守	64	校	361,283	
図書館システム使用料、緊急メール配信システム等運用保守	64	校	149,577	
その他 ( 光回線使用料等 )			61,795	
事業実績	リース契約を満了した機器について、令和3年9月にタブレット端末、令和4年1月に校務パソコンの更新作業をそれぞれ実施しました。また、校内ネットワーク用の無線アクセスポイントを増設し、通信環境を改善するとともに、タブレット端末で個々の習熟度に応じて利用できるA I型学習ドリルを導入して家庭学習機能の充実を図りました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	平成2年度に中学校11校にコンピュータ室を設置しました。平成19年度に学校図書館、電子黒板、及び校務システムを整備し、平成26年度に全普通教室へ電子黒板の設置を完了し、平成29年度に校内無線LAN環境の整備を終えました。令和3年2月に児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備を完了しました。
事業の今後 (3~5年)の予測と方向性	令和3年2月に児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備を完了しましたが、約3万台の維持管理に必要な経費が増えています。クラウドサービスを利用したデジタル教材が普及し始め、高速大容量の通信に対応するネットワーク環境を実現し、いつでもどこでも1人1台専用タブレット端末を利用し、学習できる通信環境を構築することが求められています。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	校務パソコンについては、常勤教員については、1人につき1台を実現しています。また、児童・生徒1人1台専用タブレット端末についても、令和3年2月に、1人につき1台を実現しました。
評価と課題	令和2年度末に全児童・生徒1人1台専用タブレット端末を配備したことから、引き続き現在の運用体制を維持しつつ、今後はタブレット端末を安定的かつ効果的に運用できるよう、杉並区デジタル戦略アドバイザー制度を活用し、通信ネットワーク環境の改善に取り組みます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	児童・生徒1人1台専用で配備したタブレット端末の更新が3年後に想定されており、約3万台のタブレット端末を維持管理する経費の節減やネットワーク通信を構成する機器の見直しによる経費削減を検討し、予算増とならないように努めます。	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 472

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	I C Tを活用した研修等の実施	24	回	1,960
	その他 ( 研修用デジタル教科書インストール作業委託 )			116
事業実績	<p>児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員がI C Tを日常的に活用し、より効果的な授業を展開できるよう、済美教育センターに整備したI C T環境を活用し、授業支援ソフトやデジタル教科書、プログラミング教材の活用方法を学ぶ研修を実施しました。また、学校におけるI C T活用の普及の中心となる推進者を養成する研修を実施しました。さらに、I C Tの活用をテーマにした各校の自主的な研修の支援として、指導主事が講師を務める訪問型の研修も実施しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>令和元年度に済美教育センター内に区立学校と同様のI C T環境を整備し、I C Tを活用した研修等をセンターにおいて実施することが可能となりました。また、令和4年度から研修用のタブレット端末をこれまでの10台に加え15台増設するための予算を計上し、より多くの参加希望に対応できるようになりました。</p> <p>令和2年度には児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備が終わり、今後はこれらを用いて授業において様々な学習コンテンツを活用し、子どもたちの学びを充実させていく段階となりました。そのため、教員のI C T活用指導力を向上するための研修や、研修場所や時間、方法を自ら選択し受講できる研修をより多く設定するため、当該I C T環境を活用しています。</p>
事業の今後 (3~5年)の予測と方向性	<p>新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向けて、「学校教育の情報化推進に関する法律」が施行され、「先端技術を活用した学び」等の教育情報化施策が実施されています。そのため、児童・生徒1人1台専用タブレット端末や学びの情報基盤を効果的に活用するため教員に必要な資質・能力、またI C Tを活用した指導力を着実に身に付けることができるよう、研修内容や実施方法の充実を図っていく必要があります。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>成果指標の(1)のとおり、参加者全員から高評価を得ました。次年度も引き続き、参加者が満足する研修を実施できるよう努めていきます。</p>
評価と課題	<p>I C Tを活用した指導力向上に関する研修については、受講者の希望に対応するために、目標を上回る回数を実施しました。研修に対する肯定率は、全ての研修で100%と高い評価を得ることができました。指導主事が講師となる学校訪問型の研修も多くの学校で実施することができましたが、今後は、これまでの済美教育センター主催の研修に加え、各校のI C T活用の普及の中心となる教員による校内OJTを充実させます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I . 事業コストの方向性	拡充
	II . 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、教員が情報教育の推進や授業改善を図ることができるようにする研修や、I C Tを活用した指導力を向上するために必要となる基礎的・実践的な知識や技術を学ぶ研修をはじめ、学校におけるI C T活用普及をしていくための推進者の資質・能力を養成するための研修や学校における個々の課題に対する訪問型の研修を実施します。</p> <p>また、研修用のタブレット端末を25台に増設することで、I C Tを活用した研修の機会を拡充し、児童・生徒1人1台専用タブレット端末や学びの情報基盤を効果的に活用する教員の資質・能力の更なる向上を図ります。さらに、I C T研修以外の研修にも、ツールの一つとしてタブレット端末を活用し研修内容の充実を図ります。</p>	







# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 477

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	学校図書館活用実践校事業の実施	4	校	2,167
	学校司書に対する旅費の支出	56	人	108
	学校図書館研究用図書購入	46	冊	260
	学校司書研修講師謝礼の支出	2	人	35
	その他（学校図書館支援会計年度任用職員の旅費支出）			56
事業実績	<p>引き続き区立小中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の蔵書の充実や館内整備を行うとともに、読書活動の推進や授業での学校図書館活用の充実を図りました。学校図書館活用実践校（小学校3校・中学校1校）では、校内で管理職を含めた学校図書館運営の組織を立ち上げ、全学年とも多くの教科において、学校図書館の活用が進みました。</p> <p>教員や学校司書を対象とした研修は、著作権や人権、LGBTQ+など基本的な知識や新しいテーマを取り上げ、学校図書館に関わる教職員の資質向上を図りました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置しています。済美教育センターの学校図書館支援担当が運営支援を行い、学校図書館の整備・活動・活用を推進してきました。学校図書館の貸出冊数は、学校司書が配置される前と比べて、令和3年度では、小学校は3倍を超え、中学校は6倍近く伸びました。令和3年度末には、蔵書冊数の基準である「学校図書館図書標準」以上の冊数を持つ学校は小・中学校とも、95%以上となりました。蔵書については、毎年蔵書の更新（購入・廃棄・買い替え）が必要であり、今後も学習に適した蔵書となるよう進めていきます。児童・生徒や保護者、また学校からも、学校司書の継続配置を求められており、学校図書館の充実についても保護者や区民から期待と要望が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>学校図書館の3つの機能（児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」、児童・生徒の学習活動を支える「学習センター」「情報センター」）の充実・強化を図るため、今後も小中学校全校に学校司書を配置し、その資質向上のための研修を継続的に実施します。司書教諭研修やその他の教員向け研修では、学校図書館を活用した教育活動や教科等横断的な利用が広がるよう働きかけを行います。</p> <p>また、学校図書館が紙の図書資料とタブレット端末を併用して学習できる環境となったことを生かし、児童・生徒の探究学習の推進や情報活用能力の育成の拠点となるよう、学校図書館支援担当による支援を継続しながら、学校図書館の活用を推進していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>小中学校全校への学校司書の配置を継続しました。学校図書館の1人当たり年間貸出冊数は、小学校では前年度実績を上回り、中学校では若干下回りましたが、いずれも全国平均（令和2年度文部科学省調査）を超えています。計画の目標冊数以上の貸出がある小学校は、令和2年度23校から令和3年度31校へと伸び、中学校では、令和2年度の目標14.5冊から令和3年度の15冊へ目標値が上がった中で、前年度と同数の学校が目標冊数を達成しました。学校図書館を利用する授業の増加や読書月間等での読書イベントや学校司書による本の紹介、朝読書の実施、給食と関連付けた図書紹介など、各学校での読書の啓発が効果を上げました。</p>
評価と課題	<p>学校司書の全校配置から10年が経過し、学校図書館の機能の充実が図られ、活発な読書活動や学校図書館を利用した授業実践が充実してきました。コロナ禍ではありましたが貸出冊数は全国平均を上回り、蔵書冊数の基準「学校図書館図書標準」を全校が達成するまでに小中学校であと3校を残すのみとなりました。今後は、貸出冊数という量だけでなく、小中学生の読書の質の向上を図っていく必要があります。蔵書においても、全校での図書標準達成を前提として、さらに質的な向上を図り、授業での学校図書館活用を進めていきます。児童・生徒が1人1台タブレット端末を持つ中で学校図書館が「学習センター」「情報センター」として、デジタル情報と図書資料との併用を図り、児童・生徒の探究学習の推進や情報活用能力の育成に教科等と連携しながら活動していくことも課題です。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>学校図書館を活用した教育活動の推進を図るため、これまでの成果を踏まえ、引き続き学校司書を小中学校全校に配置し、学校図書館の機能を充実させていきます。学校図書館支援担当は、学校図書館への訪問、司書教諭・学校司書研修等の研修や電話等による日常的な相談を継続していきます。各学校内での学校図書館運営のための校内組織の立ち上げや学校図書館全体計画等の改定を促し、学校全体で活用を進めるとともに、活動の質の向上を目指します。学校図書館活用実践校事業では、学校図書館で、デジタル資料と紙資料の併用で授業を行うモデル実施を支援し、その取組を研修等で全校に共有します。</p>	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 483

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	機械警備業務委託		40	校
	機械設備保守点検業務委託 (全館空調校)	9	校	16,439
	昇降機保守点検業務委託	12	校	14,407
	施設保全法定点検業務委託	41	校	10,667
	その他 (設備の保守委託 )			53,552
事業実績	機械警備や機器の保守点検を実施し、学校施設の安全安心の確保に努めました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	学校警備職員の退職にあわせて、専門事業者への委託を推進し機械警備化を進めています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設の維持管理は、学校の安全安心の確保に重要であり、引き続き保守点検等を実施する必要があります。	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 488

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	杉並第十小学校給食室改修その他工事			
高井戸第三小学校校舎外壁補修工事				96,140
西田小学校便所改修工事				67,939
西田小学校防火シャッター改修工事				41,965
その他 ( 八成小学校受変電設備取替工事ほか )				276,349
事業実績	学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎外壁補修工事、便所改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。 今後も、学校の改築時期や施設の老朽状況・耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	(環境の変化) 学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。 (意見) 学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つなどの指摘を受けております。また使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、校庭の土埃対策や雨水対策などとともに、各工事における車両などの安全対策、騒音・振動対策などが求められています。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	今後、建物は築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図りつつ、最適な学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	当初予定していた学校諸施設の整備工事を全て履行することができました。これにより施設の機能や教育環境の維持・向上に寄与できました。
評価と課題	施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、状況に適した学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改善における費用対効果等を見据えつつ、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図り無駄のない施設整備に取り組んでいきます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立学校施設整備計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 489

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	屋内運動場空調設備設置工事	4	校	81,849
	屋内運動場空調設備賃借	28	校	25,631
	その他 ( )			
事業実績	<p>高井戸小学校ほか3校の屋内運動場に空調設備を設置しました。 また、杉並第二小学校ほか8校の屋内運動場に、賃借により空調設備を整備しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>教育環境を改善し、学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善・充実させるため、平成26年度に理科室、平成28・29・30年度に家庭科室と図工室に空調設備を設置しました。 また、令和元年度から屋内運動場への空調設備設置等整備を始め、令和3年度に完了しました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>普通教室と特別教室、屋内運動場の空調設備整備は完了しましたが、学習環境改善のため、少人数教室などにも、空調整備設置が求められています。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>屋内運動場の空調設備整備について、計画どおり確実に目標を達成しており、令和3年度で整備完了しました。</p>
評価と課題	<p>普通教室と特別教室に空調設備を設置することにより、学習環境の改善を図りました。屋内運動場についても、令和3年度に小中学校全校への整備完了しました。 今後は、空調設備未設置の少人数教室などへの整備を進めます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>小学校PTA連合協議会等の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への整備を進めます。</p>	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 490

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	富士見丘小学校移転改築及び併設1施設建設建築等工事			
	富士見丘小学校移転用地における埋蔵文化財発掘調査委託			183,370
	富士見丘小学校移転改築及び併設1施設建設工事に伴う工事監理業務委託			24,320
	その他（建設事務費等）			556
事業実績	令和2年度にとりまとめた実施設計に続いて、小学校移転用地の埋蔵文化財現地調査を終え、小学校新校舎の建設工事に着手することができました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	改築基本計画の策定及び基本・実施設計の進捗に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	富士見丘小学校の最も古い校舎は築55年となり、さらなる老朽化が進む中、改築を着実に進めていく必要があります。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	埋蔵文化財調査が必要となったため、工事着工が数か月遅れましたが、令和5年9月の小学校新校舎開校に向けて工事の着実な進捗に取り組めます。
評価と課題	小学校移転用地について、本格的な埋蔵文化財調査が必要となったため、工事の着工が遅れましたが、着工時には近隣説明を行うなど近隣の声にも丁寧に対応し、概ね順調に工事が進捗しています。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和5年度は3か年工事の最終年として工事費が必要なほか、新校舎開校に伴う初度調弁や落成式費用などが必要です。	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 491

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	仮設校舎賃貸借		9	月
	改築関係工事 (建設工事、解体、その他工事)			764,963
	実施設計・工事監理委託			131,145
	その他 (代替運動措置、備品搬出等)			5,664
事業実績	<p>仮設校舎の建設とプール・特別教室棟等の解体工事が終了しました。                      令和3年12月に新校舎建設工事の契約締結をするとともに、同月に近隣住民の方に工事説明会を実施した後、新校舎建設工事に着手しました。                      また、仮設校舎の完成を受け、既存北校舎・体育館と併せた学校運営を行いました。体育の授業については、善福寺川緑地野球場や東田中学校を代替運動場として使用するなど、児童の教育環境確保を図りました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取組により、現在は、工事中の教育環境や建設工事の進め方について、保護者や近隣住民の理解、協力が得られています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>令和5年11月末に新校舎が竣工する予定です。                      令和6年1月から仮設校舎及び既存北校舎・体育館の解体を始めます。令和6年度から令和7年度にかけて実施する校庭・外構等の環境整備工事の完了を持って本改築事業は終了となります。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>プール・特別教室棟解体工事で、地中障害物があったため、工期の延長を行いました。年度末までに新校舎の建設工事に着手することが出来ました。引き続き、実施設計を基に新校舎の建設工事を着実に進めます。</p>
評価と課題	<p>仮設校舎建設やプール・特別教室棟の解体工事については、工程・工法の工夫に努めることで、児童の教育環境、近隣住民の生活環境に可能な限り配慮を行い、工事を終了するとともに、新校舎の建設工事にも着手することができました。                      今後とも、保護者や近隣住民等に対する情報提供や要望把握を適時適切に行い、新校舎建設工事を着実に進めていきます。</p>

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>昨年度に引き続き、実施設計を基に、校舎改築工事を着実に進めていきます。</p>	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 493

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	機械警備業務委託		22	校
	機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	4	校	7,271
	昇降機保守点検業務委託	10	校	9,951
	施設保全法定点検業務委託	23	校	6,317
	その他（設備の保守委託）			6,414
事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守委託を実施し、学校施設の安全・安心の確保に努めました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	学校警備職員の退職ににあわせて、専門事業者への委託を推進し機械警備化を進めています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	施設の維持管理は、学校の安全安心の確保に重要であり、引き続き保守点検等を実施する必要があります。	





# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 498

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	和田中学校屋上プール改修工事			
高井戸中学校及び併設1施設屋上防水改修その他工事				33,553
和田中学校幹線設備取替工事				26,556
高南中学校幹線設備取替工事				23,136
その他 (井荻中学校防火シャッター改修工事ほか)				47,774
事業実績	学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水工事、プール改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。 今後も、学校の改築時期や施設の老朽状況・耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	(環境の変化) 学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。 (意見) 学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つなどの指摘を受けております。また使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、校庭の土埃対策や雨水対策などとともに、各工事における車両などの安全対策、騒音・振動対策などが求められています。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	今後、建物は築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図りつつ、最適な学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	当初予定していた学校諸施設の整備工事を全て履行することができました。これにより施設の機能や教育環境の維持・向上に寄与できました。
評価と課題	施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、状況に適した学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改善における費用対効果等を見据えつつ、杉並区立学校施設整備計画と整合性を図り無駄のない施設整備に取り組んでいきます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立学校施設整備計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 499

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	屋内運動場空調設備設置工事	1	校	30,361
屋内運動場空調設備賃借	13	校	11,733	
	その他（ ）			
事業実績	井荻中学校の屋内運動場に空調設備を設置しました。 また、高南中学校ほか4校の屋内運動場に、賃借により空調設備を整備しました。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	教育環境を改善し、学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善・充実させるため、平成26・27年度に理科室、平成28・29・30年度に家庭科室、令和元年度には美術室に設置しました。 また、令和元年度から屋内運動場への空調設備設置等整備を、令和3年度に完了しました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	普通教室と特別教室、屋内運動場の空調設備整備は完了しましたが、学習環境改善のため、少人数教室などにも空調設備整備が求められています。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	特別教室及び屋内運動場の空調設備整備について、計画どおり確実に目標を達成しており、令和3年度で整備完了しました。
評価と課題	普通教室と特別教室に空調設備を設置することにより、学習環境の改善を図りました。屋内運動場については、改築計画中の学校を除き、令和3年度に小中学校全校への整備完了しました。 今後は、空調設備未設置の少人数教室等への整備を進めます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	中学校PTA協議会等の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への整備を進めます。	

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00756)

事務事業名称	富士見丘小・中学校の改築	款 07	項 03	目 03	事業 008	整理番号	500
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係	連絡先 電話番号	1698	昨年度 整理番号	520
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実				予算事業区分	投資事業	
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和 3年度 担当課名	学校整備課				事業評価区分	一般	

## 令和 3年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者	根拠 法令 等	(1) 学校教育法第5条 (2) 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「総合計画・実行計画」に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。	活動指標	指標名 (1) 設計進捗率 (平成30～令和2年度) 工事進捗率 (令和3年度～) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○平成30年度 改築検討懇談会設置・運営 基本計画 ○令和元年度 改築検討懇談会運営 基本設計 ○令和2年度 実施設計 ○令和3年度～ 小学校新校舎建設工事 ○令和5年度～ 中学校新校舎建設工事	指標名 (2) 改築検討懇談会開催回数 (累計)	指標説明
		成果指標	指標名 (1) 指標説明
		指標名 (2)	指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度 計画	令和 3年度 対計画比 (%)	令和 3年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 %	30	100	100	10	0	0	67.1	
活動指標 (2)	2 回	11	11	11	11	11	11		
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	60,456	99,934	97,132	10,073	6,759	3,168	<b>特記事項</b> ・令和2年度までで実施設計が完了したため、事業費の減となりました。 ・耐力度調査の契約落差等によって執行率が低くなっています。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	60,240	99,525	96,755	9,229	6,178	3,018		
職員数	8 人	1.24	0.75	0.68	1.27	0.99	0.47		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	10,810	6,539	5,782	10,799	8,260	3,921		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	71,266	106,473	102,914	20,872	15,019	7,089		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	2,375,533	1,064,730	1,029,140	2,087,200	0	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	71,266	106,473	102,914	20,872	15,019	7,089		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 500

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	富士見丘中学校における埋蔵文化財確認調査の支援委託			
	富士見丘中学校耐力度調査業務委託			2,145
	その他 (建設事務費等)			599
事業実績	令和5年度からを予定する中学校校舎改築工事に先立って、埋蔵文化財調査 (試掘) や耐力度調査などを実施することができました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	改築基本計画の策定及び基本・実施設計の進捗に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	富士見丘中学校の最も古い校舎は築49年となり、さらなる老朽化が進む中、改築を着実に進めていく必要があります。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	実行計画のとおり、令和元年度・2年度の2か年で基本設計及び実施設計を完了しました。また、令和5年度からを予定する中学校新校舎の建設工事に向けて、必要な調査等を実施することができました。
評価と課題	中学校については、一体的に整備する小学校棟の建設後に、令和5年度から建設工事に着手することとなりました。令和3年度は、そのために必要な埋蔵文化財調査や耐力度調査等を実施することができました。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	令和5年度は、中学校の解体工事及び建設工事に着手します。また、改築期間中、旧富士見丘小学校校舎に仮移転するため、校舎改修や移転経費が必要となります。	



# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00820)

事務事業名称	中瀬中学校の改築	款 07	項 03	目 03	事業 009	整理番号	501
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係	連絡先 電話番号	1683	昨年度 整理番号	521
上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実				予算事業区分	投資事業	
事業開始	令和 2年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和 3年度 担当課名	学校整備課					事業評価区分	一般

## 令和 3年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	中瀬中学校の生徒、教職員及び学校関係者	根拠 法令 等	(1) 学校教育法第5条 (2) 地方自治法第180条の2
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「総合計画・実行計画」に基づき、令和2年に築60年を迎えた中瀬中学校の改築事業を図る。	活動指標	設計進捗率
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	改築検討懇談会開催数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○令和2~3年度 改築検討懇談会設置・運営 基本設計 ○令和3~4年度 実施設計 ○令和4年度 仮設校舎建設 ○令和5~7年度 新校舎建設工事 ○令和7~8年度 環境整備工事	指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	令和元年度 実績	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度 計画	令和 3年度 対計画比 (%)	令和 3年度 予算執行率 (%)
			計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 %		30	20	70	40	0	57.1	58.9
活動指標 (2)	2 回		9	7	2	2	0	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円		78,672	4,169	112,280	66,171	232,199	特記事項 実施設計委託費を事業者の前払金辞退により、令和4年度に繰り越したことなどにより予算執行率が90%未満となりました。	
(内) 投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円		77,758	3,656	111,236	65,574	194,441		
職員数	8 人		0.00	3.49	2.75	2.69	2.75		
上記以外の職員	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円		0	29,675	23,383	22,443	22,943		
上記以外の職員	11 千円		0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円		78,672	33,844	135,663	88,614	255,142		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円		2,622,400	1,692,200	1,938,043	2,215,350	0		
財源	14 千円		0	0	0	0	0		
受益者負担分	15 千円		0	0	0	0	0		
国からの補助金等	16 千円		0	0	0	0	0		
都からの補助金等	17 千円		0	0	0	0	0		
その他の補助金等	18 千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	19 千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円		78,672	33,844	135,663	88,614	255,142		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度 杉並区事務事業評価表 (2)

## 令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 501

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	基本設計			
地盤調査				9,229
改築検討懇談会の開催		2	回	170
その他 ( 耐力度調査、土壌汚染状況調査等 )				10,532
事業実績	令和2年度から引き続いた改築検討懇談会を完了しました。懇談会の意見を踏まえた「改築基本設計まとめ」を作成した上で、基本設計を完了しました。また、建設工事に向けた各種事前調査を実施しました。			

## 令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	改築検討懇談会が、学校の休校や緊急事態宣言により開始が遅れたため、基本設計は令和2年度末完了予定から延期して、令和3年7月完了としました。懇談会では、改築基本方針や校舎配置計画、平面計画について活発な意見交換を行い、納得をいただいて完了しました。また、改築ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、学校、保護者、地域からは特に反対意見などはなく、理解協力を得て進めています。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	新校舎の建設や既存校舎の解体等の工事期間を経て、新校舎が完成する段階となります。学校や保護者、近隣住民には、改築事業について一層ご理解いただくよう、丁寧な対応を行うとともに、工事が与える生徒や近隣住民への配慮を行う必要があります。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	改築検討懇談会の開始が遅れたことから、基本設計の完了予定が遅れたものの、令和3年度には完了し、地域への説明会を実施するとともに、実施設計を進めました。引き続き実施設計の完了に向けて進めるとともに、新校舎の建設に向けて、仮設校舎の建設、既存校舎の解体工事等を行っていきます。
評価と課題	改築検討懇談会について、令和2年度から引き続き開催し、改築基本方針や校舎配置、平面計画について納得をいただいて完了しました。懇談会の意見を踏まえて基本設計を策定し、実施設計を進めるとともに、改築ニュースの発行や説明会の開催などにより、近隣や保護者に周知を計りました。今後は、教育環境の充実や近隣への配慮事項を実施設計の中で、いかに具体化するかを検討するとともに、工事期間中の生徒や近隣住民への配慮を検討していきます。

## 令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	令和5年度は、前年度末からの既存校舎の解体工事を完了した上で、実施設計を基に、新校舎の建設工事に着手します。	

# 令和4年度外部評価 質問票

## 施策27 学校教育環境の整備・充実(担当:岩下委員)

質問No.	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
1	情報教育の推進	委員記入欄	<p>施策評価表 I において、成果指標(2)で「児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数」があり、令和2年度の段階で一人1台が実現しており、令和3年も計画、実績とも一人1台で、令和4年も一人1台の計画となっておりますが、すでに令和2年度で一人1台は達成しているのので、内容の充実等の次の段階の目標に変更していくべきとおもいますがどうでしょうか。</p>
		所管課回答欄	<p>ご指摘のとおりです。タブレット端末をどのように授業や自宅学習において活用状況を成果指標とすることが肝要かと思えます。 新たな指標として、学習ソフト(ドリル等)の利用時間や利用回数、中学校3年生の学習習熟度など、済美教育センターで実施している特定課題調査の項目と調整し見直します。</p>
2	学校図書館の充実	委員記入欄	<p>施策評価表 I において、成果指標(4)で「学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(中学校)があり、令和3年度で計画15冊に対し、実績が11.2冊で、かつ、令和2年度の実績12冊より下回っているにもかかわらずその原因分析、対策の記述がありません。(小学校の方は、令和3年度で実績が計画値より上回り、かつ、令和2年度より、実績値ベースで伸びています。) 事業評価表(1)整理番号477 でも、「中学校では、令和2年度の目標14.5冊から令和3年度の15冊へ目標値が上がった中で、前年度と同数の学校が目標冊数を達成しました。」との記載で、目標未達の原因分析、対策について記載がありません。原因分析等について記載すべきとおもわれますがどうでしょうか。</p>
		所管課回答欄	<p>前年度よりも貸出冊数の実績が伸びている中学校は9校、減っている中学校は14校でした。23校を合計すると前年度よりも減となってしまいました。 増減の理由を分析すると、朝読書の実施の有無、授業での学校図書館の活用度合や教員の生徒への働きかけの影響があります。生徒間の働きかけも関係し、図書委員会活動による本の帯作りやしおりコンテストが貸出につながった学校もありました。また、これらの取組は年度の差が大きく、熱心な教員が異動したり、学年で取り組んでいた読書活動が終了したりということがあります。令和2年度に貸出実績が伸びたのは、コロナ禍で貸出冊数制限を緩和した学校が複数校あったことにもよります。 今後も、学校への朝読書の働きかけを積極的に行い、読書イベントの具体例を学校間で共有したり、学校図書館の授業活用を活性化したりするよう促していきます。また、冊数だけでなく、中学生の読書の質の向上も目指し、年齢に適した本の紹介にも力を入れていきます。また、このような指標に対する分析と対策について、記載することとします。</p>
3	情報教育の推進	委員記入欄	<p>事業評価表(1)整理番号464で、教職員用パソコンの配備台数が、活動指標と成果指標の両方に設定されています。本来、活動指標と成果指標は別のものが設定されるべきです。また、各教職員について、1台パソコンが配備されている中、教職員用パソコン配備台数の目標値はどのような意味合いを持つものなのでしょうか。</p>
		所管課回答欄	<p>質問No.1と同様に、校務支援ソフトの活用率などの新たな指標を検討し、見直します。</p>

質問No.	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
4	情報教育の推進	委員記入欄	活動指標(2)の「教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数」目標、実績とも2.5人について、児童・生徒には一人1台タブレットが配備されていますが、ここでいう「教育用パソコン」は、何を意味するもののでしょうか。
		所管課回答欄	学校のコンピュータ室用のパソコン、学校図書館のパソコンなどを総称しておりました。 1人1台のタブレットを配備が完了していますので、指標を見直す際に外します。
5	情報教育の推進	委員記入欄	「約3万台の維持管理に必要な経費が増えていて」、経費削減を検討する必要がある旨の記載があります。 タブレット端末の調達に関し、昨年度入札に係る外部評価で、タブレットの調達に関し、他の業者が入札を辞退して、1社のみ入札となり、また、1台当たりの調達額について、他の地方自治体の同様な調達の単価について、調達に当たり比較検討は行っていない旨のご回答があったと記憶しておりますが、経費削減のため、今後、複数業者による入札の確保や事前の他の自治体の調達単価との比較がされるべきとおもいますがどうでしょうか。
		所管課回答欄	1台あたりの国からの補助額の上限が45,000円であったため、この金額以下で、仕様書に沿ったタブレット台数を調達できる事業者のみ応募できたと考えます。国の補助金を上限として調達した自治体は、全て同じです。
6	教職員の研修②	委員記入欄	成果指標で「ICT活用研修に対する参加・出席教職員の肯定率」(4段階の上位2位までの率)が設定されており、令和元年から3年まで、計画、実績とも100%となっています。ICT活用研修自体については、時代の流れで、否定する意見は少ないと思われ、より研修自体の向上を目指した新たな指標を設定すべき段階にきているとおもわれますがどうでしょうか。
		所管課回答欄	研修に対する参加者の肯定率については、全ての教員・教育関係者のニーズに応じた内容が提供できているかを測るために、引き続き指標として設定していきたいと考えます。 なお、事業の目的が「教員等のICTを効果的に活用した指導力の習得」であることから、ご指摘のとおり研修自体の向上を測ることができる指標に加え、教員等が研修を通して身に付けた指導力を授業において効果的に活用できているかを測る指標も必要であると考えます。 当該事業の成果を測るための適切な指標については、現在も学校へ定期的に行っている日常の授業等における児童・生徒1人1台タブレット端末の活用状況、また、導入している学習支援ツール等の活用状況の調査も参考にしながら、検討してまいります。

質問No.	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
7		委員記入欄	<p>学校司書配置校数、区立小学校・特別支援学校数、機械警備実施数、改修工事实施校数、改修工事实施割合、空調設備設置校数、空調設備設置率等の各種指標について、計画比100%がほぼ決まっている指標とおもわれます。 より努力目標的な活動内容を活動指標として選択することはできないでしょうか。</p>
		所管課回答欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書配置校数につきましては、対外的に杉並区の学校図書館活動の充実度を表す数値であり、今後も100%配置を継続していくことの表明でもありますが、今後の活動指標は「杉並区子ども読書活動推進計画」に掲げている小・中学生の未読者の割合(数値目標は平成28年度実績の3割減)としていきます。</li> <li>・区立小学校・特別支援学校数、機械警備実施数につきましては、学校維持管理事業ですので、学校数のとおり維持管理することが適当と考えています。</li> <li>・改修工事实施校数、改修工事实施割合につきましては、事業の目的である「学校教育環境の整備・充実」の目標を実現するために、当該年度に計画したすべての改修工事を100%実施することを目指して取り組んでいるため、指標は適当であると考えています。</li> <li>・空調設備設置校数、空調設備設置率につきましては、上記「改修工事实施校数・改修工事实施割合」と同様に、当初から100%実施されることが決まっているものではなく、空調設備整備を計画通りに着実に実施することを目指して取り組んでいるため、指標は適当であると考えています。</li> </ul>